




札幌
東高同窓会報
平成7年8月
第23号
札幌東高等学校同窓会

ごあいさつ

北海道札幌東高等学校同窓会会長 吉 中 新太郎



今年、年明けから大事件が続発し、物情騒然であった世相も、このところ平静を取り戻したように感じられる昨今であります。同窓会の皆様にはつがなくお過ごしのことと存じます。

明治40年に札幌区立女子職業学校から始まった我が校は、幾度かの変遷を経て、今年88年目（米寿）を迎えるに至りました。

この永い伝統と共に3万1千名を越える卒業生が、母校で培った知識や経験を基盤として、各地各界で広く活躍されておられますが、先般は東1期の丹保憲仁氏が北海道大学総長に就任されるなど、同窓の皆様が夫々の分野で傑出した活躍されていること、同窓の一人として大いに誇りとするとこ

ろであります。

母校では、ここ数年続いた11・12学級体制が、今春より平常の10学級に戻ったようであります。

社会・経済の成熟と共に、少子化傾向が強まって、数少ない若人に対する社会の期待や、一人つ子に向ける親の期待がますます大きくなる現状では、大学進学環境・考え方も今後変わって行くかも知れませんが、これまで培った進学校としての高い評価は、ぜひ継続されることを希い、堅持されると信じております。

あと2年後には創立90周年を迎え、今年より準備に入ります。記念事業の細目は今後皆様とお諮りしながら進めて参りますが、何れも同窓会各位の協力なしには実行し得ませんので、引き続き温かいご支援をお願い致します。学校並びに同窓会皆様のますますのご健闘を祈念いたします。

いあこさし



札幌東高等学校長 玉山 治義

同窓生の皆様には、益々御壮健にて御活躍のこととお慶び申し上げますとともに、去る1月17日に兵庫県南部を襲った大地震により、不幸にも罹災されました同窓会員や関係者に衷心よりお見舞い申し上げます。

また、日頃、母校と後輩のために何かと御支援を賜り、かつ、特段の連携を深めていただいておりますことに対しまして厚くお礼申し上げます次第であります。

さて、打ち続く地震災害の度に、日本中から老若男女のボランティアの救援活動や義援金の申し出など、「物が豊かになって心が貧しくなった」といわれている近年、未だ豊かな心が失なわれていないことを見る事ができて安堵し、高齢化社会の到来でも大丈夫と思つていたところであります。

ところが、去る3月20日に起つた地下鉄サリン事件を契機に、オウム真理教一連の組織的犯罪が連日の報道で明らかになっております。このことで大きなショックを受けたのは、組織犯罪の実行犯がいずれも、難関大学の医学部、法学部、工学部等に進んだ、謂わば知的エリートとみなされる若者であつたことであります。小さい頃から勉

強のできる素直な子供であつたといわれた彼等が、何故冷酷で反社会的な行為に加担するようになったのかという疑問と未来社会への不安であります。学力の高い彼等が、無批判にカルト教団にのめり込んだのは、偏差値教育の弊害であるとの指摘もありました。このことが正鵠を得ているとは思われませんが、教育に携わる者にとりましては、実に考えさせられる問題であります。残念ながら、彼等に真の知性や心が育つて居なかつたと思われるのであります。

教育は、教えることと育てることのバランスを保つことによつて、人格の

完成を目指していることから、教えることを中心とする学校教育が、発達段階に応じた真の知性を育てることに手取りがあつたといふことの反省に立ち、心の育成を中心とする家庭教育との連携を一層深めた今後の学校教育を推進しなければならぬものと考えます。

また、価値観の多様化や個性尊重という美名のもとに、何んでも認めるといつた誤つた考えも横行して、許容社会を助長したことなども反省しなければなりません。

幸いにも、本校におきましては教職員が一致協力して、「克己自強」の精神のもとに学習指導・生徒指導・進路指導等に取り組んでおります。そのお陰を持ちまして、知・徳・体の調和のとれた生徒が巣立つており、北海道の札幌東高校として評価を高めております。

その成果として、特筆すべきは今年度の進路実現における道内国立大学合格者が172名となり、道内高校第2位の実績を残すことができました。体育系部活動におきましても、陸上競技、テニス、ソフトテニス、卓球、体操の各部と個人の水泳が全道大会に出場し、陸上部の8名と水泳の1名が全国大会に駒を進め、活躍が期待されてお

ります。文化系では囲碁の女子個人が全道準優勝して全国大会へ。朝日英文エッセイコンテスト優勝の3年生寺嶋明子さんが、高校生オーストラリア研修の旅へ。また、2年の塚本智美さんが、海外研修をかけて国際ソロブチミストユースフォーラム東北・北海道大会に出場します。この他家庭クラブは40年にわたりボランティア活動の義護施設訪問やリサイクル活動に取り組み、サッカークラブが引手繰り犯人逮捕に協力するなどの善行や勇気ある行動があげられます。

このような成果を御報告できますことを大変嬉しく思つている次第であります。これも偏に、関係各位の温かい御支援の賜と深く感謝申し上げます。今後も東高教育の一層の充実を目指して参りますので、変らぬ御高配と御声援をお願い申し上げます。

最後に、札幌東高同窓会の益々の御発展と会員皆様方の御健康・御繁栄を心から御祈念申し上げます御挨拶といたします。



昨年の同窓会を振り返って

東高25期卒 中 井 昌 彦

それぞれの時代背景の中で、3年間
の高校生活を送った世代の異なる方々
との新たな出会い、また、同期の仲間
との再会。同窓会は、様々な出会いの
場であります。過去の青春の一ページ
を東高で過ごした人々が一堂に集い、
この同窓会で同じ時間を過ごしてい
る。今一年前を振り返ると、なぜかと
ても不思議な気持ちになってしまいま
す。

大先輩である11期の方々と、初々し
さすら感じる44期の後輩とともに企画
した年に一度の大イベント。なんとな
く景気が後退している状況の中、広告
は取れるだろうか、チケットは売れる
だろうか、8月が近づくにつれ不安
ばかりが増幅していった事が、懐かし
く思えてきます。

実行委員として名を連ねた65名のエ
ネルギーが、「なつかしい日々、きつ
と何かが…」というテーマのもと、更
に600名の世代を超えたパワーとな
り、第85回札幌東高同窓会をなんとか
無事開催することが出来た訳です。成

功かどうかは、当日出席された方々が
評価してくれる訳ですが、時が流れ
時代が変化しても東高は存在し続け、
同窓会も永遠にそのパワーを持ち続け
て行くことでしよう。

スケジュールの都合や、遠方である
ことから当日出席出来なかったクラス
メイトから、様々なはげましの手紙や
電話を頂き、また、永い間離れていた
仲間が今後も集うことの出来る環境が
整った事等今回の同窓会を通じて得た
事が多くありました。

今後、それぞれの時代の卒業生が
出会いのチャンスを活かす場としての
同窓会であり続けることを願っており
ます。



第四十六回 東高祭

テーマ「決起」72時間戦えますか

久しぶりの青空に恵まれた7月14日

より16日まで、学校祭が開催されまし
た。我が同窓会から、生徒全員にジュ
ースが配られました。今年卒業の45期、
十数名もお手伝いにかけて下さい
ました。皆様有難うございました。

同窓会室には、会員や御父兄の方々
も多く訪れ、なつかしのアルバムを開
き歓談されていました。また、吉中同
窓会長よりケーキの差し入れもありま
した。お礼申し上げます。

母校担当

高女24期副会長 秦 泰子

東高9期副幹事長 陣内 幸則

東高19期 " 中村 紀子



十九の会

還暦過ぎてからの会報発行

中村 純子

私たちが札幌市立高女に入学したのは昭和十九年春です。太平洋戦争末期から戦後の混乱期を、女学校という共通の場で過ごしたせいか、私たち同期生の絆はことのほか強いように思います。

とくに八年前、同期会の名称を「十九(とく)の会」(昭和十九年入学の意)として再発足してからは、毎年同期会を開催して、一層の親睦を深めています。子育てが一段落し、生活の場も安定、心身面でも余裕のきた私たちの年齢のせいも大いにあるのでしょけい。

そんなある時、同期生の意思疎通を図るための会報を年一回発行しては、という声を持ち上がりました。三年前のことです。そして会報づくりが私の担当になりました。一切を任せられて、まず会報のタイトルを「くりつぷ」としました。印刷会社に依頼するほどの部数でもないのに、B4判に手書きしたものを百五十部コピーし、これを二つ折りにしてホチキスで留め、B5判四ページの第一号が出来上がりました。全くの手づくりのつたない会報の誕生です。

今年六月に出した第三号は「私の昭和二十

十年」という特集を組んだため、十二ページにふくらみました。敗戦の年は私たちが女学校二年生になったばかりの時です。寄せられた原稿には、援農や工場への勤労動員、着のみのままの樺太からの引き揚げなど、五十年前の激動の年の思い出が鮮明に綴られていて、会報担当者の私をまず感動させました。

この会報「くりつぷ」、卒業後、実に半世紀近くたつてからの、還暦過ぎてからの発行ですから、いつまで続けられるものやら若い人にバトンタッチ、というわけにいかないのが、この会報発行の弱点なのですから。



●平成7年6月の同期会でのスナップ。会報は、同期会開催に合わせて発行し、出席者に手渡される。欠席者には後日郵送。

「人生やつぱり経過点」

15期卒業30周年記念同期会・報告書

同期会実行委員長 水谷 洋一(大成建設(株))

約500名の同期で連絡できた仲間には約350名。参加者は道外からの16名を加えて107名そして恩師4名。白髪と少髪が増えて「誰だつたわけ?」お互い、名乗りあつて「お元

気だつたか」どの同期会でも見られる風景が、ごく自然に、何の演出もなく会場いっぱい広がつて、校歌をBGMに質素で賑やかで、かつまた華やかな、元18才の少年少女の宴が始まった。

15期の自慢はたくさんある。それらが、話題の中心となつて、次々と会話が錯綜していく。取り分け、北海に負けた野球の試合。延長で1・2で負けたが、勝つていれば甲子園が目前だった。その時のエース箭原君が、この同期会の準備を始めた矢先の昨年、夏に亡くなつて、その報告は参会者にとつては大きなショックであった。集まつた仲間の相互に近況報告をしている様子は実に様々な人生の縮図絵巻。高校時代の記憶からは想像もつかない活躍

をしている人、医者、弁護士、大学教授。はたまた現役バリバリのキャリア

ウーマン。そうなつていて不思議がない苦なのに、主婦専業だつたり……。

愉快なのは、やはり、その当時の彼と彼女。男性の方が意識過剰に遠巻きでチラチラ見やる。気付いた彼女は笑顔で「元氣?」、気さくな会話は主婦の方が強い。テレル素顔は当時のまま、冷やかす紳士も悪童面。この和やかさは、やつぱり、同期会ならではのモノ。幾つになつても、時々はこうして再会する機会を作れると、裏部隊の実行委員の苦勞も快汗になる。次は誰か頼むゾ。



東京支部会だより

初冬に入る北海道とは異なり、十一月の第二週の東京は秋たけなわで、代々木公園で毎年開かれる収穫祭ともいうべき北海道フェアに故郷の冬が近いことを知る季節です。その時期に第十七回東京支部総会が平成六年十一月十一日(日)に開催されました。一昨年と同じ有楽町の日生劇場地下にあるレストラン・アクトレスを埋めつくす百四十名をこえる盛会となりました。札幌からは菅村敬次郎先生(S三十八



年四月から四十一年四月・国語)をお招きし当時の思い出などを語って頂きました。首都圏在住の恩師には宮田久三郎先生、紺野義雄先生が出席され、高女の皆様はじめ多くの方々とご歓談なさいました。ちよつと寂しかったのは、札幌の同窓会長及び現校長が今回はご都合で欠けたことです。総会では、①年会費の改訂②支部役員の変更が提案・承認されました。東京支部は茨城から静岡県までをカバーしており三千名弱の会員を擁します。札幌の情報をお伝えすべく三年前から本部会報を案内状に同封しはじめたこと、郵便料金の値上げを吸収し切れなくなつたこと等により、五百円引上げ千円に改訂されました。また前回(第十六回)総会に出席頂いた阿部校長のご報告の中で、合唱部の全国大会出場への支援要請を受け、その場で募つたカンパ金七万八千円を送つたこと及び合唱部顧問の五味世津子先生からの礼状を朗読披露し万雷の拍手を頂きました。続いて懇親会に移り、幹事各位からお寄せ頂いた景品をもとに、東高十四期の方々のお骨折りによる「お手玉まわし」のゲームで楽しく過ごしました。目玉は北海道往復旅行クーポンで、二名の方が幸運を射止

めました。

今年の東京支部総会では、首都圏在住の恩師にご参加をお進めし、より賑やかに話題の輪を拡げたいと当番幹事一同準備を勧めているところです。十一月の第二日曜日の十二日に左記要領で開催致します。近隣の方は勿論上京のついでがありましたら飛び入り参加も歓迎致します。新しいメンバーの参加を心待ちにしております。

第18回 東京支部総会のお知らせ
日 時 11月12日(日)
午後二時～五時

場 所 地図参照

当番期 高女24期・東高22期

代表 東高22期 中村 宏之

(☎03-3554154171)



同窓会事務局から

◎同期会に助成金

より多くの呼びかけで、親睦の和をさらにひろげる同期会への助成金制度です。どしどしご利用ください。はじめての同期会開催には、三万円・次回以降の同期会開催には、一万円・申し込みはハガキで事務局へ。

▽期名・代表者名(フリガナつき)と電話番号・振込銀行と口座番号・開催日時と会場を記入の上お申込ください。銀行振込制です。

◎住所などの変更はハガキで

住所・電話・勤務先などを変更された会員は、事務局又はメンテナンズの会社へハガキでお知らせ下さい。

◎年会費について

運営上の大切な財源として運用され、母校のスポーツ・文化活動や学校祭などの助成にも活用されています。会員各位の協力をお願いいたします。

☆送金振込先(八頁参照)

◎同好会に参加を

ゴルフ、麻雀、テニス、ほか同好の会員による懇親の集まりにふつと参加しませんか。今年はゴルフの同好会が開かれました。ほか企画やご希望をお寄せください。

◎会報の送付を希望される方や、同好会その他ご意見などご遠慮なく事務局までお寄せください。札幌東高同窓会事務局

003札幌市白石区菊水9条3丁目
(札幌東高校内)

事務局担当

☎011-831-60302
梅村・藤原・飯田
古江・阿部・木村・林

帯広支部だより

待望の帯広会発足

東高12期 楠野 博

「先輩しばらく…」成田巳次さん(13期)が私の職場に姿を見せたのが昨年五月。見覚えのある顔だと思っただら、なんと同じ硬式庭球部に籍を置いていた仲でした。「帯広・十勝にも同窓生が結構いるはずだから一度顔合わせしようよ」。数日して二人の外に谷津征彦さん(14期)、多田義之さん(13期)、大森賢司さん(12期)、山田幸雄さん(14期)、前原良宇子さん



(13期)らが集まり、帯広会の開催を決めました。

そして記念すべき日の昨年七月三十日。地元新聞に帯広会開催の告知記事を掲載してもらったものの果して何人の同窓生が集まるのか気掛かりでした。しかし、案ずるより生むが易し、会場の帯広市中部の酒場には次つぎと同窓生が姿を現し、最終的には26人にも。出席はしなかったが、帯広畜大で学んでいる学生なども含めると確実に40人以上の同窓生が十勝に住んでいることが分かり、一同意を強くした次第でした。

昨年三月まで母校の校長を務めた阿部敏さん(道立帯広美術館館長)が東高の近況も含めてあいさつしたあと会長に平川清さん(8期)、事務局長に谷津さんを選出。佐藤勇馬さん(8期)沢田壮兵さん(10期)ら出席者全員が自己紹介し、あとはなつかしい高校時代の思い出話に花が咲き、校歌、応援歌を声高らかに合唱するなど夜の更けるのも忘れて親睦を深めました。転勤族が多く、今年はすでに二人の仲間が帯広を去ったのは残念。それぞれの送別会では同窓生有志が集まって修学旅行やクラブ活動などに話が弾み、青春時代にタイムスリップ、転勤者と再会を約していました。

丹保北大総長就任に思う

一九九五年の北海道は雪解けを待つて、政治と教育の両面で、新しいトツプリーダーが誕生した。

この際、政治のことは別として、北海道大学新総長について触れてみたいと思う。

札幌東高校は、多くの傑出した人材を輩出し、広く各界で活躍しているが、今年五月、北海道大学第十五代総長に就任した丹保憲仁氏もその一人である。

去る初夏の一夕、中学・高校時代の有志が集まって、彼のためにお祝いの会を開いた。

少年時代から変わらない丸い笑顔と小太りの体。しかし、大学教育の充実のあり方などについて抱負を語ってくれた時の目は、決して笑ってはいなかったのが印象的だった。



これからも多くの後輩たちが、ニレの樹茂るキャンパスを目指すことと思うが、あえてこの機会に、丹保総長にお願いしたいことは、「開拓に従事すべき青年輩を学識並びに現術の為に教育する」という札幌農学校建学の精神に立返り、自由と平和を基調とした、政経、文化、民生、科学などのあらゆる分野で、二十一世紀の北海道を担う人材を育まれることと、市民に密着した大学習者を目指してほしいことである。

(東高一期 武田清克記)



東高の思い出

豊島 輝彦



40年余り前のこと、当時私の家は中島公園口にあつて東高の前身であつた札幌市立高女の正門に面していた。

祖父が庭師であり、高女の庭木の手入れもほとんど手掛けていたことを思い出す。

戦後まもなく、新制高校の制度となり市立高女は北海道立札幌東高等学校として生まれ変わったが、まもなく菊水に新校舎がつくられて移転となつた。

昭和29年、私は東高に入学したが目の前の校舎はすでに中島中学と夜学の星園高校に変わつていた。今のパークホテル駐車場である。

当時は公立高校も少なく、市の中心部はかなり広い地域から東高へ通学していたが、私もスキノから苗穂駅ま

で市電にのり、東橋を歩いて通つたことを懐かしく思い出す。

さて、絵の好きだつた私は、東高の「美術教室」に何より感激した。

伊藤 正先生の真摯で、情熱溢れるご指導とひんやりとして空気が澄みきつた教室の壁は美術館のようにデッサンや油絵が整然と陳列されていた。美大や芸大に進んだという先輩のデッサンは、暗黙に後輩たちへの励ましを伝えていたし、伊藤先生も油がのりきつた時代で立派な作品を次々と発表されていた。

昭和37年春、私が学大美術課程を卒業の年、伊藤先生は東高を退職されてパリへ絵の勉強に行かれることになり、はからずも先生は後任に私を推薦して下さいました。

はじめて職員室に入り小さくなつて恐る恐る周りを見れば、3年間担任であつた北条、林、丹田の各先生をはじめ半数以上が受け持たれた先生方で面映ゆいばかりの毎日であつた。卒業生であり、教師として過ごせたことをとても光栄に思う。7年間勤めさせていただき昭和44年春退職し札幌大谷短大に移つた。

(現、札幌大谷短期大学美術科主任教授)

065 市内東区北17東2の10

豊島 輝彦

第十四回 195・7・20(木)

札幌東高校同窓会ゴルフ大会

於 タカオ滝野コース

絶好のゴルフ日和により恒例のゴルフコンペが参加四十九名により東、西コースより同時スタート致しました。例年より二十人位少ない参加となりましたが、東コース氏家会長、西コース東六期石山先輩の始球式によりスタート、白球を追つて優勝を目指し開始致しました。運営もゴルフ部会役員の得能氏を始めとして役員皆様のご協力により円滑にとり行なわれた事、真に感謝に堪えません。今回四人一組のゴルフコンペでしたが、これが良かったか反省しているところです。来年も七月第三木曜日開催の予定です。老いも若きもレディースも沢山参加お待ちしております。成績は次の通りです。

東コースの部	H G N
優勝 吉川 昌利 東二期 23 91 68	
準優勝 阿部 伸一 東七期 15 71 80	
一位 高松 五夫 東二期 8 74 66	BG
二位 金子 園明 東二期 4 95 71	
三位 児島 護 東八期 20 92 73	
西コースの部	
優勝 岡本 昭男 東十三期 25 92 67	
準優勝 中村 紀子 東十九期 36 95 59	

一位 堂畑 時雄 東十二期 6 75 69	BG
二位 中島 重勝 東十三期 25 94 69	
三位 田中 憲三 東十五期 13 84 71	

◎ゴルフ部幹事

部会長 氏家 保嗣 (東1)	
副会長 大黒 正芳 (8)	
幹事 陣内 幸則 (9)	
" 三浦 紀秀 (9)	
" 得能 勝 (13)	
" 中島 重勝 (13)	
" 藤枝 清規 (14)	
" 皆川 博文 (17)	
" 北村 優明 (19)	
" 鈴木 敬久 (22)	



平成六年度 東高同窓会会務報告

平成6年7月から1年間の主な会務を報告いたします。

○定例幹事会

平成6年7月7日(敬愛ビル)
総会提出議案審議他

○同窓会ゴルフ大会(第13回)

平成6年7月21日(滝野CC)
参加者55名 団体優勝・東6期

○母校学校祭(第45回 東高祭 協賛)

平成6年7月15日〜17日

同窓会ルーム開設、アルバム・パネルを展示し、在校生にジュースサービス(新卒幹事・役員のみ19名参加)

○母校支援

体育・文化活動への助成を行った他、合唱部への別途支援を先行前年度決定分)

○同窓会帯広会発足

平成6年7月30日

平川清会長・東8期会員26名、谷津征彦事務局長・東14期 谷津設計0155-1351-8121

○第85回同窓会総会

平成6年8月19日(京王プラザホテル札幌) 当番期・東高11期・25期・44期
テーマ:「なつかしい日々、きつと何かがある」
会券:688名、年会費のみ1333名

○同窓会会報

平成6年8月 第22号発行

○東京支部総会

平成6年11月13日(有楽町「アクトレス」事務局・東高16期(半田満氏048-881-1473))

○総会報告会・引継会

平成6年11月14日(恵愛ビル)
新旧当番期9名及び役員(会長・副会長・幹事長)計11名

同期会・同好会助成

○同期会・同好会助成

同期会・ゴルフ部会活動への助成を先行

○当番期実行委員会

平成7年1月23日(月)第1回(恵愛ビル)

○常任幹事会

平成7年1月24日(火)中村屋旅館 35名

○同窓会入会式

平成7年2月28日(火)
東高45期 499名入会
(会員31、000名を超える)

○卒業式・祝賀会

平成7年3月1日(水)

○新幹事研修会

平成7年5月22日(月) / 後楽園ホテル
東高45期新幹事・役員・事務局35名が参加し、同窓会への理解を深めた。

平成七年度

事業計画(案)

- 一、定期総会及び幹事会・常任幹事会を開催します。
- 二、支部・同期会・同好会に対する支援と助成を行ないます。
- 三、母校に対し、学校祭協賛事業と体育・文化活動その他の助成を行ないます。
- 四、また、新入会員の同窓会入会式・新幹事研修会を開催します。
- 五、平成9年に迎える母校の90周年にあたり、次の関連事業にとりくみます。
 - ①90周年記念事業に協賛します。
 - ②会員名簿の発刊準備を進めます。また、幹事名簿の整備を継続して行います。
 - ③会費制度の検討をすすめます。
- 五、「東高同窓会報」No.23を発行します。

同窓会事務局から

- ◎郵便振替口座
003 札幌市白石区菊水九条三丁目
札幌東高等学校内 代表者 吉中新太郎
口座番号 〇二七〇〇一〇一〇〇八〇
- 一、取扱扱い局 菊水三条郵便局(八二一八八九五)
 - 二、用紙は同窓会事務局に請求するか又は、最寄りの郵便局の用紙をご使用下さい。

名簿メンテナンスをご利用下さい

メンテナンス・オプション料金表

種別	内容	作業料金
各種リスト	出力	基本料(1,000円) + 作業単価(2円/人)
	宛名出力(印字)	基本料(1,000円) + 作業単価(5円/人)
各種発送代行	各種印刷物等の封筒詰めから発送までの全業務を代行する。	基本料(1,000円) + 作業単価(30円/人)

※利用は会員に限ります

●オプション申込先 岩橋印刷(株)
営業部第1課 電話 661-2511
ファックス 661-0112

払込票		払込票兼受領証	
払込先	払込金額	口座番号	振込金額
027001	10080	027001	10080
札幌東高等学校同窓会		札幌東高等学校同窓会	
○同窓会費(高女・一高・東高)	名×円	○振込用紙	枚×円
○同窓会名簿	冊×円	○その他入金	円(内訳)
○寄付	円		
○その他入金	円(内訳)		
連絡事項			

■ 会計報告

平成6年度決算書並びに平成7年度予算（案）

☆一般会計

平成6年度決算書

平成6年7月1日から
平成7年6月30日まで

平成7年度予算（案）

平成6年7月1日から
平成7年6月30日まで

(収入の部)

科目	予算額 円	収入決算額 円	摘要
前年度繰越金	553,739	553,739	
入会金	1,000,000	998,000	499名×2,000円
年会費	660,000	650,000	1,300名×500円
雑収入	800,000	770,934	總會剰余金・準備金戻入他
特別会計繰戻金	1,500,000	1,500,000	
計	4,513,739	4,472,673	

(収入の部)

科目	予算額 円	摘要
前年度繰越金	259,293	
入会金	1,000,000	500名×2,000円
年会費	650,000	1,300名×500円
雑収入	800,000	總會剰余金・準備金戻入他
計	2,709,293	

(支出の部)

科目	予算額 円	支出決算額 円	摘要
事務手当	230,000	230,000	事務局諸会費、交通費
事務用品費	50,000	27,450	用紙代他
印刷費	150,000	30,000	諸印刷代、名簿保守料
通信費	120,000	78,892	郵送料
慶弔費	100,000	59,480	餞別他
会議費	360,000	416,123	幹事会他諸会議
總會関係費	300,000	300,000	準備金
会報発行費	150,000	144,200	会報印刷代
学校祭関係費	150,000	152,724	学校祭参加諸費
同期会等助成金	200,000	210,000	同期会、同好会等助成
新会員関係費	300,000	284,511	記念品代
体育文化助成金	1,650,000	1,650,000	在校生助成
特別会計積立金	600,000	600,000	積立金繰入
雑費	50,000	30,000	
予備費	103,739	0	
計	4,513,739	4,213,380	

(支出の部)

科目	予算額 円	摘要
事務手当	230,000	事務局諸会費、交通費
事務用品費	50,000	事務用消耗品
印刷費	170,000	諸印刷代、名簿保守料
通信費	80,000	切手、はがき代
慶弔費	80,000	餞別他
会議費	400,000	幹事会他諸会議
總會関係費	300,000	總會準備金
会報発行費	150,000	会報印刷代
学校祭関係費	150,000	学校祭参加諸費
同期会等助成金	200,000	同期会、同好会等助成
新会員関係費	300,000	記念品代
体育文化助成金	150,000	在校生助成
特別会計積立金	300,000	積立金繰入
雑費	40,000	
予備費	109,293	
計	2,709,293	

収入額 4,472,673円 - 支出額 4,213,380円 = 残額 259,293円
(札幌銀行菊水支店 普通預金全額預入)

☆特別会計積立金

(収入の部)

前年度繰越金	3,888,502円
一般会計繰入金	600,000円
収益配当金	74,880円
合計	4,563,382円

(支出の部)

一般会計繰戻金	1,500,000円
支払手数料	13,399円
次期繰越金	3,049,983円
合計	4,563,382円

監査報告書

平成6年度の会計運営につき、月次同窓会会計経理状況表・支出（収入）決議書・証憑書類及び各帳簿・通帳につき監査を行いました。監査の結果、会計処理の原則及び手続きは、公平妥当なもの認められました。

よって、当監査役は上記決算書が平成7年6月30日現在の財務状態を適正に表示していることを報告いたします。

平成7年7月10日

監査役 中村 瞳三四 印
監査役 助貞 瑛一 印

札幌東高等学校同窓会会則

第1章 総 則

第1条 本会は札幌東高等学校同窓会と称し連絡運営のため事務局を母校におく。
(白石区菊水9条3丁目 電話831-6332)

第2条 本会は会員の親睦と母校の発展に寄与することをもってその目的とする。

第3条 本会会員は正会員並びに名誉会員よりなり、正会員は札幌東高等学校卒業生及び準ずるものとし、名誉会員は札幌東高等学校旧並びに現職員とする。

第2章 役員及び組織

第4条 本会に名誉役員をおく

- (1) 名誉会長 1名 現母校校長
- (2) 名誉顧問 若干名 旧母校校長
- (3) 顧問 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
- (4) 相談役 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者

第5条 本会に次の役員をおく。

- (1) 会長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
- (2) 副会長 5名以内 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
- (3) 幹事長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
- (4) 副幹事長 10名以内 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
- (5) 常任幹事 若干名 正会員中より各期幹事の推薦に基づき会長が委嘱する。
- (6) 幹事 卒業時の各クラスより男女1名ずつ2名を選出する。但し卒業後7年以降は、各期正会員の互選により各期若干名を選出し、その中から正副代表幹事を選出する。
- (7) 監査役 2名 正会員より総会で選出する。但し前記役員とは兼任できない。

第6条 役員任期は3年とする。但し再選を妨げない。

第7条 役員任務は次のとおりとする。

- (1) 会長 会務を総括し本会を代表する。
- (2) 副会長 会長を補佐し会長事故あるときは、その任務を代行する。
- (3) 幹事長 役員分掌する任務を総括し、幹事会・常任幹事会及び執行委員会を主宰する。
- (4) 副幹事長 総務・広報・組織・母校・会計の任務を分掌し、幹事長を補佐する。
- (5) 常任幹事 本会事業の運営について協議し、執行委員会の任務を補佐する。
- (6) 幹事 会員間の連絡にあたり、幹事会に出席し組織強化に努める。
- (7) 監査役 会計業務を監査し、会計の正常な運営を図る。

第8条 本会には次の機関をおく。

- (1) 総会 本会の最高議決機関で年1回定期総会を開き、必要に応じて臨時総会を開催する。なお、定期総会の運営・実務は年次当番期が行う。
- (2) 幹事会 総会に次ぐ議決機関で執行委員会の諮問事項を協議し、会の運営を協議、議決する。
- (3) 常任幹事会 本会の事業計画、予算立案その他必要事項を協議する。
- (4) 執行委員会 会長・副会長・幹事長・副幹事長で構成し、事業計画、予算立案その他必要事項を協議し、会の運営にあたる。

第3章 事 業

第9条 本会は会の目的達成のため次の事業を行う。

- (1) 総会の開催
- (2) 会誌の発行
- (3) 母校発展のための事業
- (4) 本会の組織強化のための事業
- (5) その他執行委員会が必要と認めた事業

第4章 会 計

第10条 本会の会計は正会員の会費・寄附金及び総会剰余金をもってこれにあてる。

- (1) 入会金は、2,000円とする。
- (2) 年会費は、1ヶ年500円とする。

第11条 本会の会計年度は7月1日より翌年6月30日までとする。

第12条 監査役は会計年度終了時に会計監査を行い、その結果を総会に報告する。

第5章 附 則

第13条 会員は住所、姓名等一身上の異動があったとき、これをすみやかに本会事務局又は各期代表幹事まで連絡しなければならない。

第14条 会則の変更は、総会において出席者の3分の2以上の承認を得なければならない。

第15条 会計業務は、母校事務局で行う。

第16条 本会則は昭和35年8月21日より施行する。

- 一部改正～昭和49年8月23日
昭和50年8月25日
昭和51年8月25日
昭和52年7月17日
昭和56年8月22日
昭和62年8月21日

北海道札幌東高等学校 同窓会役員名簿 (任期 = 平成5年7月～平成8年6月) 平成7年8月現在

役職	氏名	卒業期	現住所	自宅電話	勤務先	電話
顧問	松尾 静江	高女22				
相談役	石田 アイ	高女 2				
"	小野寺チズ	高女16				
"	五十嵐恒夫	東高 1				
会長	吉中新太郎	東高 1				
副会長(母校)	秦 泰子	高女24				
" (広報)	小林 幸子	第一高1				
" (総会)	田中 麗子	東高 2				
" (総会)	大黒 正芳	東高 8				
" (総務)	岩城 弘侑	東高11				
幹事長	小山 國夫	東高12				
副幹事長(組織)	高木 美子	東高 3				
" (総会)	高木 綾子	東高 4				
" (母校)	陣内 幸則	東高 9				
" (広報)	高橋 正	東高10				
" (会計)	藤枝 靖規	東高14				
" (会計)	本間 公康	東高15				
" (総会)	皆川 博文	東高17				
" (母校)	中村 紀子	東高19				
" (組織)	山崎 博	東高22				
" (組織)	村山 忠司	東高26				
監査役	中村瞳三四	高女21				
"	助貞 英一	東高13				
常任幹事	長尾 貞子	高女 4				
"	菅原 三枝	高女15				
"	佐野 セツ	高女18				
"	坂東 信子	高女22				
"	石井二二子	高女25				
"	塩野 次子	第一高1				
"	横田佐和子	第一高2				
"	氏家 保嗣	東高 1				
"	長谷川 修	東高 2				
"	久末 祐輔	東高 5				
"	鈴木 敬夫	東高 7				
"	遠藤 安倫	東高 8				
"	三浦 紀秀	東高 9				
"	山本 茂	東高10				
"	佐々木信義	東高12				
"	得能 勝	東高13				
"	林 豊	東高14				
"	西谷 洋利	東高15				
"	伊東 康博	東高16				
"	北村 優明	東高19				
"	白鳥 英一	東高20				
"	富樫 勝	東高31				



同窓生にとつて現在の東高の様子を知る機会に中々恵まれませんが、そこでこの東高だよりから抜粋して、母校の模様をご紹介します。

東高だよりから

★北海道大会から

本年度も高体連地区予選、全道大会が各地で熱戦が繰り広げられました。その戦績を紹介いたします。

●陸上競技

男子一〇MH 第七位 大槻

棒高飛 第四位 福田

女子四〇〇Mリレー 第五位 (全国大会出場)

選手・島田、佐々木、福島、山田 第六位 佐藤 (全国大会出場)

槍投

●水泳く三年連続全国大会へ

個人メドレー 二〇〇M、四〇〇M

女子 第三位 広瀬

●体操

男子 二部個人総合

優勝 上田

個人種目別 第二位 常盤

鞍馬 一位・上田、三位・常盤

跳馬 一位・上田、三位・常盤

吊輪 一位・常盤

鉄棒 一位・常盤

床 二位・上田

平行棒 二位・上田

女子 一部個人総合

第五位 山内

●新体操

女子団体 三十五年ぶり第三位入賞

個人総合 一部四位 黒田

二部五位 塚本

●卓球

男子一回戦 札幌3-0岩東

二回戦 札幌1-3北見工

●テニス

シングル 寺沢く一回戦敗退

●ソフトテニス

ダブルス 宮川・森く一回戦敗退

●囲碁

個人第二位 高田 (全国大会出場)

進路のしおりから

平成6年度の進学状況

◆国公立大学合格者数

北 大 46 37 83 (56)

◆私立大学合格者数

道教育大	小樽商大	室工大	帯広畜産大	北見工大	札幌医大	釧路公立大	弘前大	岩手大	東北大	千葉大	東大	信州大	京大	その他
47	20	22	1	0	6	2	4	5	0	3	0	2	3	14
126	21	7	1	0	1	0	3	0	1	3	0	0	0	109
73	41	29	2	2	7	2	7	5	1	3	2	2	2	287
(48)	(36)	(32)	(5)	(7)	(8)	(6)	(11)	(9)	(1)	(2)	(1)	(1)	(1)	(261)

北海学園大	北星学園大	藤女大	札幌学院大	札幌学院大	札幌学院大	道工大	道農大	道医大	道薬大	静修女大	慶應大	専修大	中央大	東京理大	日政大	法大
56	37	29	20	3	2	2	4	10	3	4	1	6	3	2	14	4
56	17	7	12	10	6	6	4	6	8	5	2	4	1	5	9	1
112	54	36	32	13	8	8	8	16	8	6	2	10	7	7	23	5
(127)	(68)	(28)	(34)	(25)	(6)	(6)	(3)	(7)	(4)	(4)	(4)	(0)	(7)	(9)	(7)	(7)

◆短大・その他合格者数

明治大	早稲田大	立命館大	関西大	その他
5	3	12	2	259
11	5	24	5	500
(8)	(5)	(18)	(1)	(454)

寄贈のお願い

古いバツジ・卒業アルバム・その他思い出の物件を同窓会の備品として保管すべく整理しておりますので、お手持ちの方がおりましたら、ご寄贈下さいますようお願いいたします。また、「同窓会報」の4号・5号・6号・7号が欠落しておりますので、お持ちの方おりましたら、原本又は写しをご提供下さいますようお願いいたします。

一あとがき

※今年度の会報をお届けいたしました。会報ご希望の方は、母校事務局又は幹事長の小山へお申し出下さい。

※年会費五〇〇円領収いたしました。

平成七年八月 東高同窓会長